

奈良市一般家庭ごみ回収に関するアンケート調査報告書

(平成 18 年度)

奈良市ごみ懇談会

奈良市環境清美部

はしがき

この報告書は、ごみ懇談会と奈良市環境清美部企画総務課との共同企画により家庭より排出される一般家庭ごみの排出状況の把握及び市民のごみに関する意見・要望を調査し、ごみ処理計画などに反映をすることを目的にアンケート調査を実施し、集約したものです。

今回の調査を実施した「ごみ懇談会」は、平成9年から奈良市で開催した「ごみ減量・リサイクル学習会」の卒業生有志が、ごみ問題を継続して学習していくとともに地域におけるごみ減量・リサイクル活動を推進するため、平成12年度に結成され、「レジ袋」の調査を実施するなど活動をされております。

今回の調査の実施に関しても多大なご苦勞をいただき厚くお礼申し上げます。

奈良市環境清美部

目 次

はしがき

1 .	調査の目的	1
2 .	調査実施の概要	2
3 .	アンケート調査・集計結果	3
4 .	その他意見・要望事項の要約	18
5 .	アンケート結果の概要	25
6 .	考察	29

参考資料

- (1) アンケート調査票
- (2) 平成 18 年度奈良市のごみ・再生資源搬入量の概要
回収された再生資源の処理・活用途の現状（奈良市のしみんだより 1 月号）

1. 調査の目的

奈良市の一般家庭ごみ収集方法としては、燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみ、有害ごみと再生資源（その他プラスチック、空き缶、ガラスびん（3色区分）ペットボトル、飲料用紙パック）の9種12品目で、分別回収を平成11年3月から全市域で開始し、平成12年1月からはごみ袋を透明か半透明による排出方法の導入を契機に7カ年が経過した。また、その結果も奏功して1人1日当たりのごみ排出量は、平成10年時の1,055gから、平成18年には842gまで市民のご協力を得て減量することが出来ました。

しかし、この処の著しい消費生活をめぐる社会事情、各家庭での生活スタンスなどの激変により、ごみの排出内容が、質・量ともに相当変化を来すと共に、地球温暖化、資源枯渇に伴う資源循環型社会形成のためのリサイクル推進、ごみ処理に要する地方公共財政負担など、多くの課題が山積しており、さらに一層のごみ処理施策の改革、改善等が望まれるところである。

そこで、今回各家庭でのごみ発生、分別、排出事情などその実態とご意見をお伺いし、今後の収集・処理計画の検討を進める上での参考資料となることを目的に、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。

よろしくご協力をお願いします。

2. 調査実施の概要

調査対象と抽出

奈良市内に在住する一般家庭（世帯）を対象に、旧行政・校区を単位に、ごみ回収区分などを基礎に標本集団を設定し、その中から単独無作為抽出法により、調査に協力をお願いする世帯をアトランダムに選定する。

調査の方法

調査の実施は、無記名で設問に対する選択項目に該当すると思われる事項に印を付記願う手法と、アンケート調査を通じてのご意見及び要望などを自由に記述願う 2 本立てで実施する。調査票は、郵送による調査依頼を行い、返信用封筒の同封によって回収させて頂いた。

調査の実施時期

平成 17 年秋頃から企画し、翌 1～2 月に調査票の取りまとめ、平成 18 年 3 月初旬に調査票を依頼者に発送し、返送期間を 3 月 27 日（月）までとして回答のご協力をお願いする。なお、調査は、『奈良市ごみ懇談会（市内のごみ減量学習会に参加した有志で組織する団体）』と奈良市環境清美部企画総務課との共同企画で実施する。

調査票の配布と回収状況

調査配送世帯数 1,500 世帯

うち有効回答世帯数 684 世帯（回収率 45.6%）

（参考）

地域区分	総数	東部地域	月ヶ瀬・都祁	高層住宅地	西部地域	その他地域
調査票配布世帯数	1,500	80	90	230	405	695
うち回収世帯数	684	46	44	67	223	299
回収率(%)	45.6	57.5	48.9	29.1	55.1	43.0
(参考) 総世帯数	147,966	2,166	2,531	6,318	46,056	90,895

（ ）所属地域区分の無記名が 5 票あり

調査の地域区分

「東部地域」とは旧柳生、田原校区域、「月ヶ瀬・都祁」は平成 17 年 4 月合併した 2 村の区域、「高層住宅地」は 5 階建以上の集合住宅街区群を形成する 6 区域、「西部地域」とは市西部公民館のエリアを範囲とする校区、「その他地域」とはそれ以外の旧奈良市街地などの区域とする。

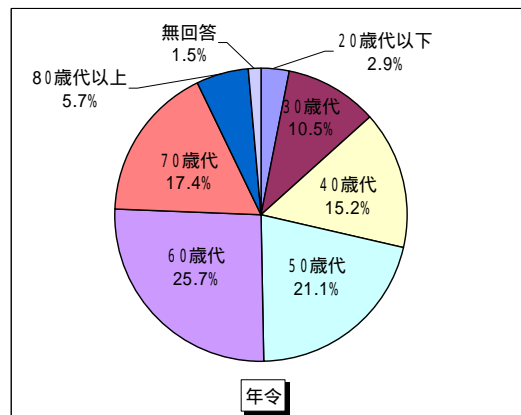
アンケート調査票は別添参考資料による。

3. アンケート調査・集計分析結果

問1 調査にご協力願った人について

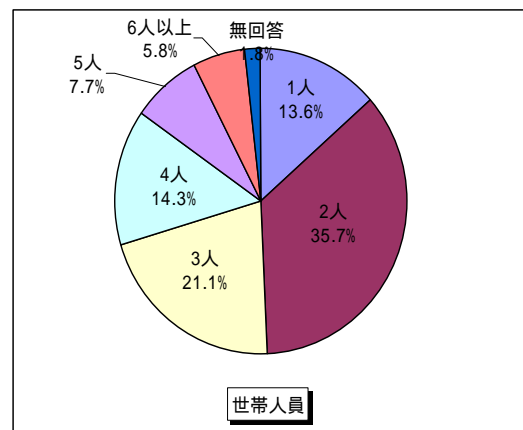
年令

選択項目	人数	構成比
20歳代以下	20	2.9%
30歳代	72	10.5%
40歳代	104	15.2%
50歳代	144	21.1%
60歳代	176	25.7%
70歳代	119	17.4%
80歳代以上	39	5.7%
無回答	10	1.5%
合計	684	100.0%



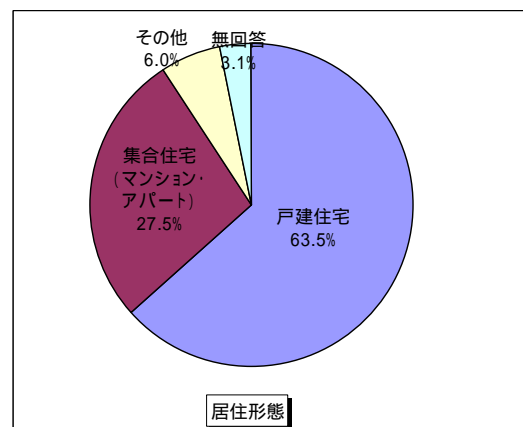
世帯人員

選択項目	人数	構成比
1人	93	13.6%
2人	244	35.7%
3人	144	21.1%
4人	98	14.3%
5人	53	7.7%
6人以上	40	5.8%
無回答	12	1.8%
合計	684	100.0%



居住形態

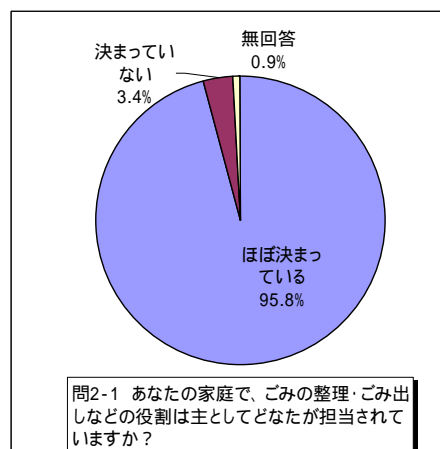
選択項目	人数	構成比
戸建住宅	434	63.5%
集合住宅(マンション・アパート)	188	27.5%
その他	41	6.0%
無回答	21	3.1%
合計	684	100.0%



問2 家庭でのごみ担当者のごみ箱の内容

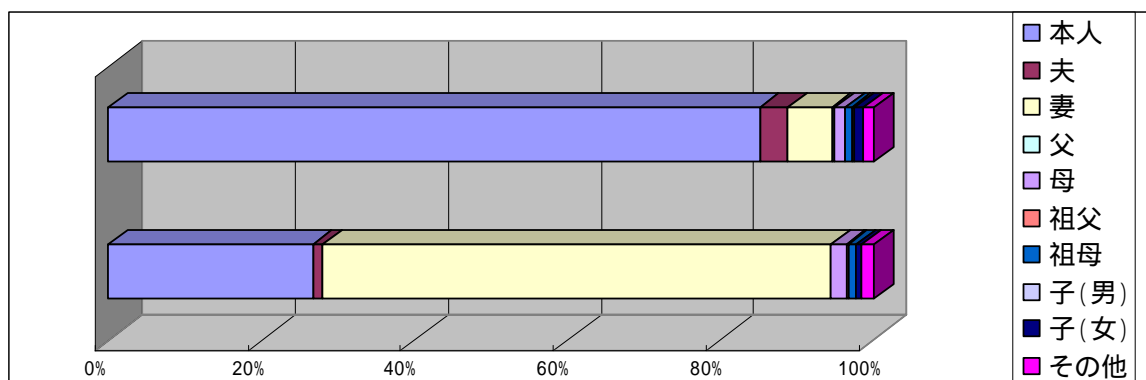
問2-1 あなたの家庭で、ごみの整理・ごみ出しなどの役割は主としてどなたが担当されていますか？

選択項目	人数	構成比
ほぼ決まっている	655	95.8%
決まっていない	23	3.4%
無回答	6	0.9%
合計	684	100.0%



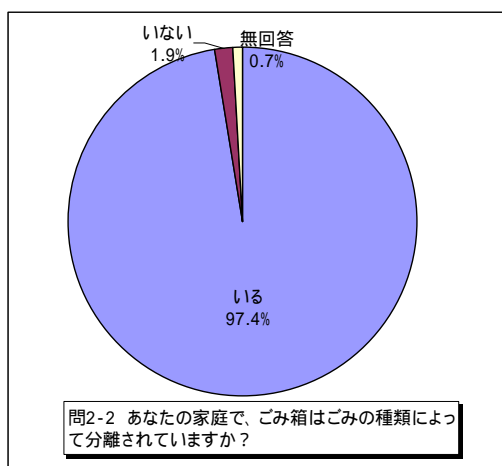
「性別」と「問2-1で1と答えた方 家族のどなたが行っていますか？」の関係

選択項目	総計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
本人	375	54.8%	80	26.7%	295	85.0%
夫	17	2.5%	4	1.3%	13	3.7%
妻	219	32.0%	199	66.3%	20	5.8%
父	1	0.1%	0	0.0%	1	0.3%
母	11	1.6%	6	2.0%	5	1.4%
祖父	1	0.1%	1	0.3%	0	0.0%
祖母	6	0.9%	3	1.0%	3	0.9%
子(男)	1	0.1%	0	0.0%	1	0.3%
子(女)	6	0.9%	2	0.7%	4	1.2%
その他	10	1.5%	5	1.7%	5	1.4%
無回答	37	5.4%	-	-	-	-
合計	684	100.0%	300	100.0%	347	100.0%



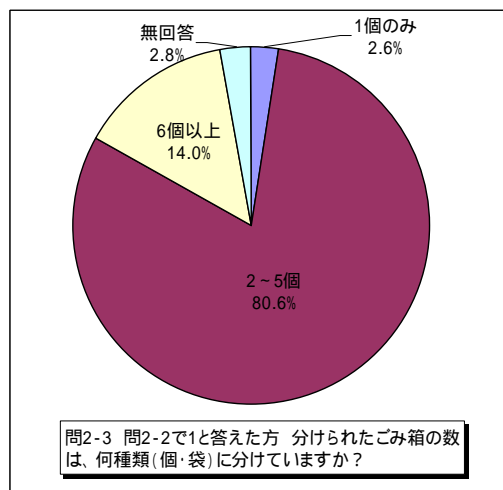
問 2-2 あなたの家庭で、ごみ箱はごみの種類によって分離されていますか？

選択項目	人数	構成比
いる	666	97.4%
いない	13	1.9%
無回答	5	0.7%
合計	684	100.0%



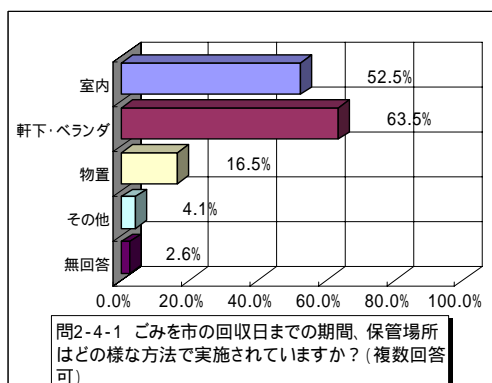
問 2-3 問 2-2 で 1 と答えた方 分けられたごみ箱の数は、何種類（個・袋）に分けていますか？

選択項目	人数	構成比
1 個のみ	18	2.6%
2～5 個	551	80.6%
6 個以上	96	14.0%
無回答	19	2.8%
合計	684	100.0%



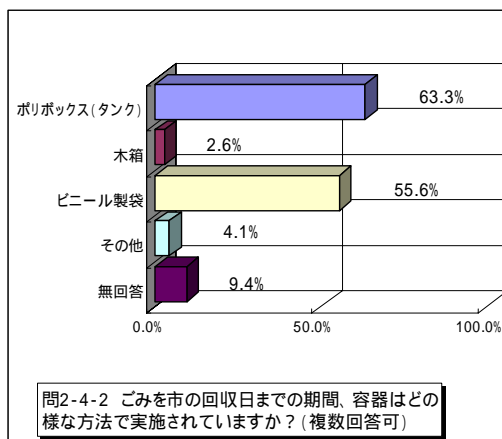
問 2-4-1 ごみを市の回収日までの期間、保管場所はどのような方法で実施されていますか？（複数回答可）

選択項目	人数	構成比
室内	359	52.5%
軒下・ベランダ	434	63.5%
物置	113	16.5%
その他	28	4.1%
無回答	18	2.6%
回答数	684	100.0%



問 2-4-2 ごみを市の回収日までの期間、容器はどのような方法で実施されていますか？(複数回答可)

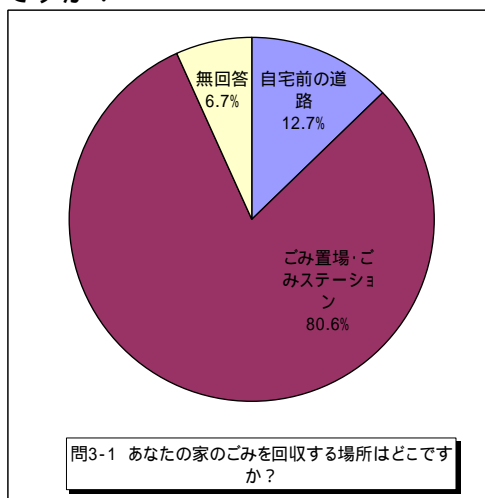
選択項目	人数	構成比
ポリボックス(タンク)	433	63.3%
木箱	18	2.6%
ビニール製袋	380	55.6%
その他	28	4.1%
無回答	64	9.4%
回答数	684	100.0%



問 3 市がごみ回収に来るごみ回収場所について

問 3-1 あなたの家のごみを回収する場所はどこですか？

選択項目	人数	構成比
自宅前の道路	87	12.7%
ごみ置場・ごみステーション	551	80.6%
無回答	46	6.7%
合計	684	100.0%

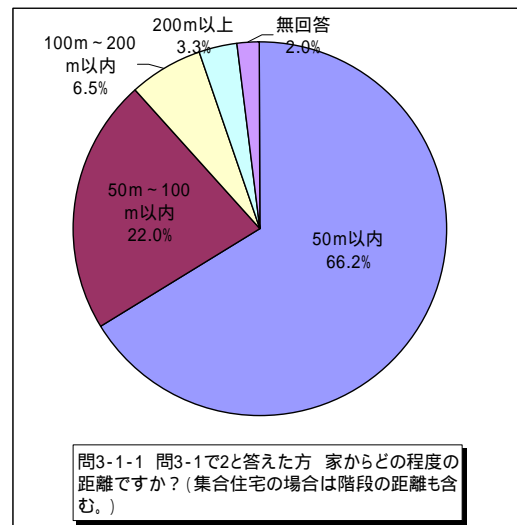


「住所」と「あなたのごみを回収する場所はどこですか？」の関係

選択項目	総計		東部		月ヶ瀬・都祁		高層住宅		西部		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
自宅前の道路	87	12.7%	4	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	22	9.9%	60	20.1%	1	20.0%
ごみ置場・ごみステーション	551	80.6%	39	84.8%	42	95.5%	63	94.0%	188	84.3%	219	73.2%	0	0.0%
無回答	46	6.7%	3	6.5%	2	4.5%	4	6.0%	13	5.8%	20	6.7%	4	80.0%
合計	684	100.0%	46	100.0%	44	100.0%	67	100.0%	223	100.0%	299	100.0%	5	100.0%

問3-1-1 問3-1で2と答えた方 家からどの程度の距離ですか？（集合住宅の場合は階段の距離も含む。）

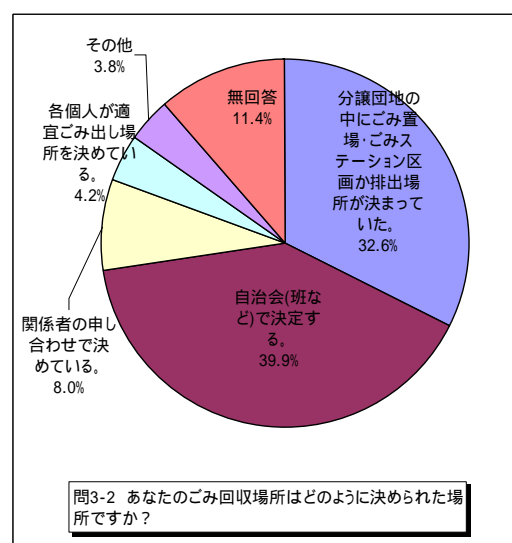
選択項目	人数	構成比
50m以内	365	66.2%
50m～100m以内	121	22.0%
100m～200m以内	36	6.5%
200m以上	18	3.3%
無回答	11	2.0%
合計	551	100.0%



選択項目	総計		東部		月ヶ瀬・都祁		高層住宅		西部		その他		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
50m以内	365	66.2%	9	23.1%	12	28.6%	42	66.7%	134	71.3%	168	76.7%	0	0
50m～100m以内	121	22.0%	16	41.0%	9	21.4%	16	25.4%	41	21.8%	39	17.8%	0	0
100m～200m以内	36	6.5%	7	17.9%	11	26.2%	3	4.8%	8	4.3%	7	3.2%	0	0
200m以上	18	3.3%	7	17.9%	8	19.0%	1	1.6%	1	0.5%	1	0.5%	0	0
無回答	11	2.0%	0	0.0%	2	4.8%	1	1.6%	4	2.1%	4	1.8%	0	0
合計	551	100.0%	39	100.0%	42	100.0%	63	100.0%	188	100.0%	219	100.0%	0	0

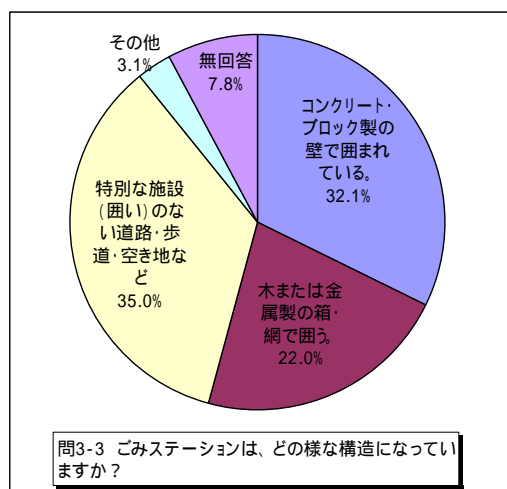
問3-2 あなたのごみ回収場所はどのように決められた場所ですか？

選択項目	人数	構成比
分譲団地の中にゴミ置場・ごみステーション区画か排出場所が決まっていた。	223	32.6%
自治会(班など)で決定する。	273	39.9%
関係者の申し合わせで決めている。	55	8.0%
各個人が適宜ごみ出し場所を決めている。	29	4.2%
その他	26	3.8%
無回答	78	11.4%
合計	684	100.0%



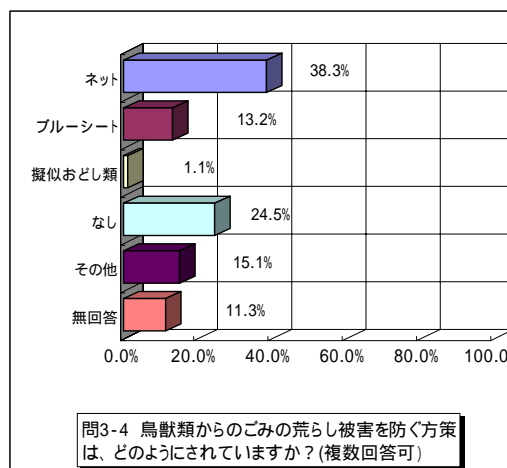
問3-3 ごみステーションは、どのような構造になっていますか？

選択項目	人数	構成比
コンクリート・ブロック製の壁で囲まれている。	177	32.1%
木または金属製の箱・網で囲う。	121	22.0%
特別な施設(囲い)のない道路・歩道・空き地など	193	35.0%
その他	17	3.1%
無回答	43	7.8%
合計	551	100.0%



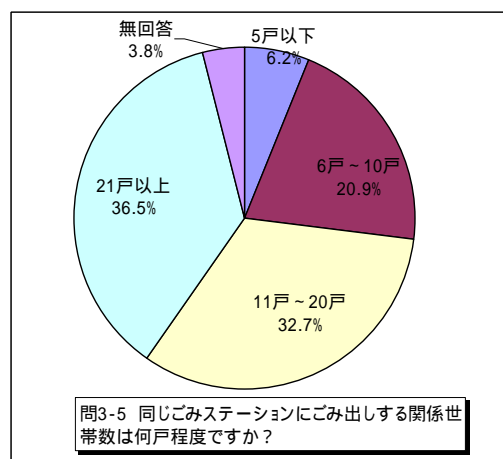
問3-4 鳥獣類からのごみの荒らし被害を防ぐ方策は、どのようにされていますか？(複数回答可)

選択項目	人数	構成比
ネット	211	38.3%
ブルーシート	73	13.2%
擬似おどし類	6	1.1%
なし	135	24.5%
その他	83	15.1%
無回答	62	11.3%
回答数	551	100.0%



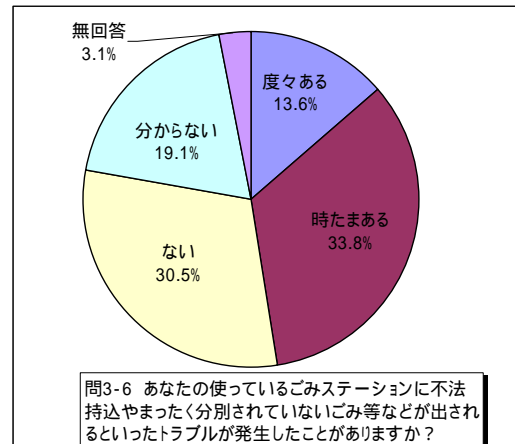
問3-5 同じごみステーションにごみ出しする関係世帯数は何戸程度ですか？

選択項目	人数	構成比
5戸以下	34	6.2%
6戸～10戸	115	20.9%
11戸～20戸	180	32.7%
21戸以上	201	36.5%
無回答	21	3.8%
合計	551	100.0%



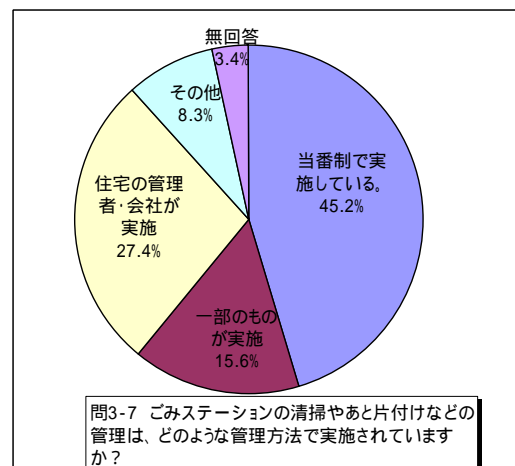
問 3-6 あなたの使っているごみステーションに不法持込やまったく分別されていないごみ等などが出されるといったトラブルが発生したことがありますか？

選択項目	人数	構成比
度々ある	75	13.6%
時々ある	186	33.8%
ない	168	30.5%
分からない	105	19.1%
無回答	17	3.1%
合計	551	100.0%



問 3-7 ごみステーションの清掃やあと片付けなどの管理は、どのような管理方法で実施されていますか？

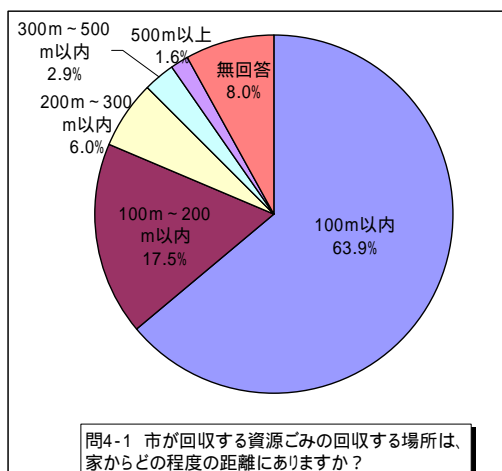
選択項目	人数	構成比
当番制で実施している。	249	45.2%
一部のものが実施	86	15.6%
住宅の管理者・会社が実施	151	27.4%
その他	46	8.3%
無回答	19	3.4%
合計	551	100.0%



問 4 再生資源リサイクルの対応

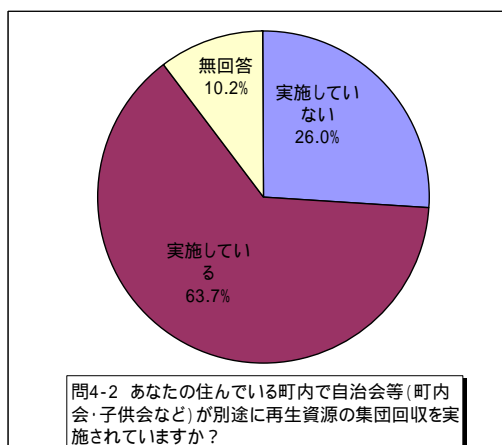
問 4-1 市が回収する資源ごみの回収する場所は、家からどの程度の距離にありますか？

選択項目	人数	構成比
100m以内	437	63.9%
100m～200m以内	120	17.5%
200m～300m以内	41	6.0%
300m～500m以内	20	2.9%
500m以上	11	1.6%
無回答	55	8.0%
合計	684	100.0%



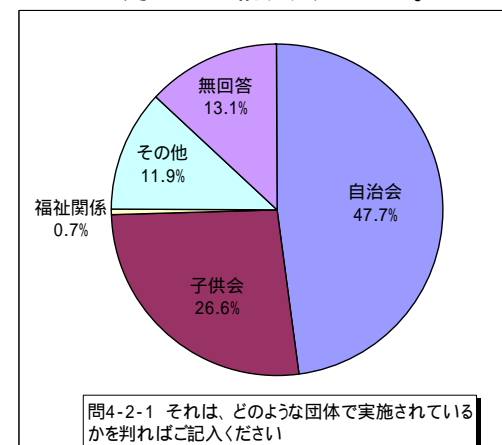
問 4-2 あなたの住んでいる町内で自治会等（町内会・子供会など）が別途に再生資源の集団回収を実施されていますか？

選択項目	人数	構成比
実施していない	178	26.0%
実施している	436	63.7%
無回答	70	10.2%
合計	684	100.0%



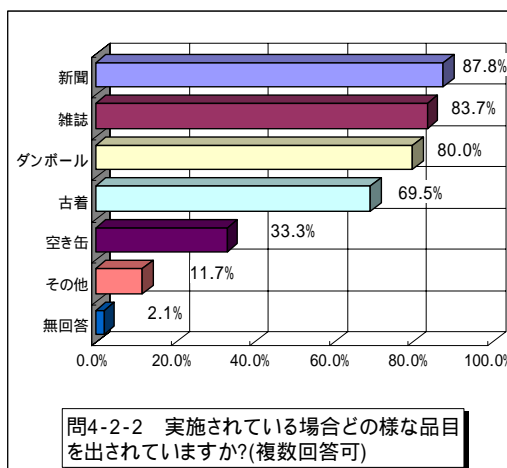
問 4-2-1 それは、どのような団体で実施されているかを判ればご記入ください。

選択項目	人数	構成比
自治会	208	47.7%
子供会	116	26.6%
福祉関係	3	0.7%
その他	52	11.9%
無回答	57	13.1%
合計	436	100.0%



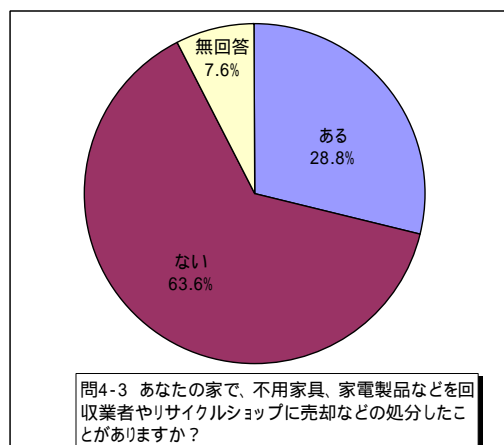
問 4-2-2 実施されている場合どの様な品目を出されていますか?(複数回答可)

選択項目	人数	構成比
新聞	383	87.8%
雑誌	365	83.7%
ダンボール	349	80.0%
古着	303	69.5%
空き缶	145	33.3%
その他	51	11.7%
無回答	9	2.1%
合計	436	100.0%



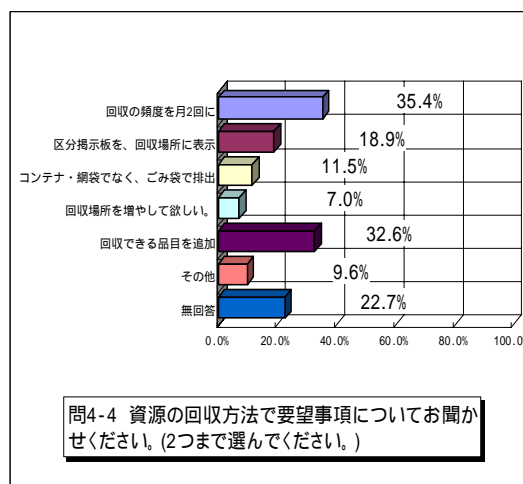
問 4-3 あなたの家で、不用家具、家電製品などを回収業者やリサイクルショップに売却などの処分したことがありますか？

選択項目	人数	構成比
ある	197	28.8%
ない	435	63.6%
無回答	52	7.6%
合計	684	100.0%



問 4-4 資源の回収方法で要望事項についてお聞かせください。(2 つまで選んでください。)

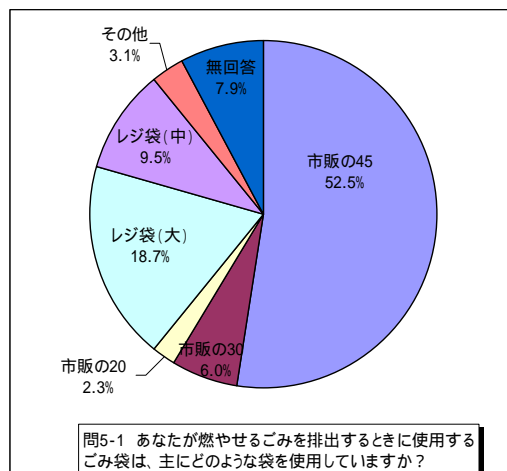
選択項目	人数	構成比
回収の頻度を月2回に。	242	35.4%
区分掲示板を、回収場所に表示	129	18.9%
コンテナ・網袋でなく、ごみ袋で排出	79	11.5%
回収場所を増やして欲しい。	48	7.0%
回収できる品目を追加	223	32.6%
その他	66	9.6%
無回答	155	22.7%
合計	684	100.0%



問 5 家庭で使用されているごみ袋について

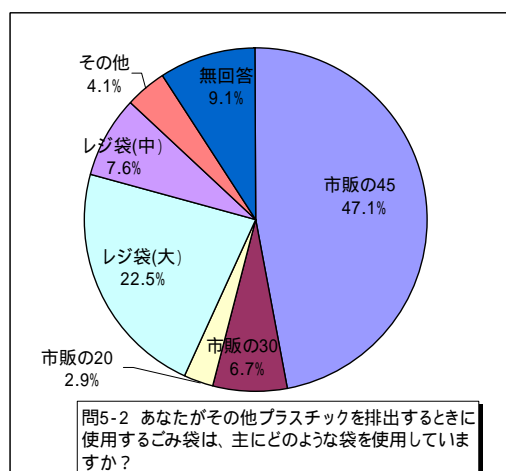
問 5-1 あなたが燃やせるごみを排出するときに使用するごみ袋は、主にどのような袋を使用していますか？

選択項目	人数	構成比
市販の 45	359	52.5%
市販の 30	41	6.0%
市販の 20	16	2.3%
レジ袋(大)	128	18.7%
レジ袋(中)	65	9.5%
その他	21	3.1%
無回答	54	7.9%
合計	684	100.0%



問 5-2 あなたがその他プラスチックを排出するときに使用するごみ袋は、主にどのような袋を使用していますか？

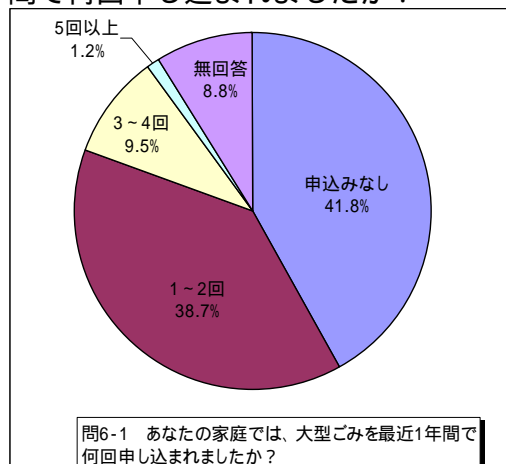
選択項目	人数	構成比
市販の 45	322	47.1%
市販の 30	46	6.7%
市販の 20	20	2.9%
レジ袋(大)	154	22.5%
レジ袋(中)	52	7.6%
その他	28	4.1%
無回答	62	9.1%
合計	684	100.0%



問6 大型ごみの申込と環境清美工場へのごみ直接搬入

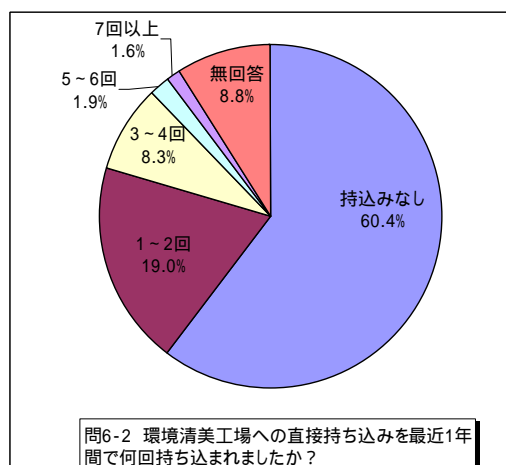
問6-1 あなたの家庭では、大型ごみを最近1年間で何回申し込まれましたか？

選択項目	人数	構成比
申込みなし	286	41.8%
1～2回	265	38.7%
3～4回	65	9.5%
5回以上	8	1.2%
無回答	60	8.8%
合計	684	100.0%



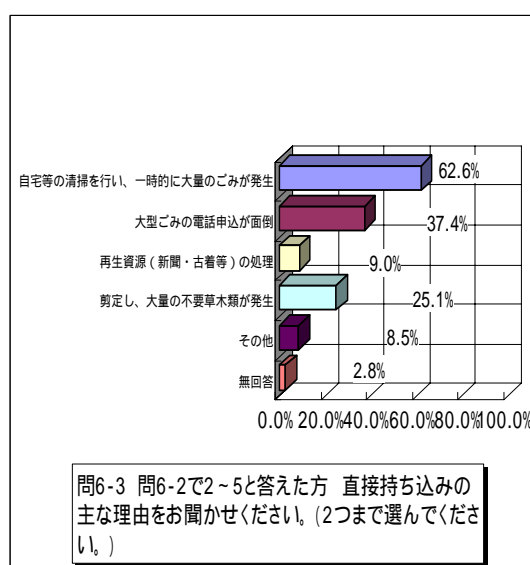
問6-2 環境清美工場への直接持ち込みを最近1年間で何回持ち込まれましたか？

選択項目	人数	構成比
持込みなし	413	60.4%
1～2回	130	19.0%
3～4回	57	8.3%
5～6回	13	1.9%
7回以上	11	1.6%
無回答	60	8.8%
合計	684	100.0%



問6-3 問6-2で2～5と答えた方 直接持ち込みの主な理由をお聞かせください。(2つまで選んでください。)

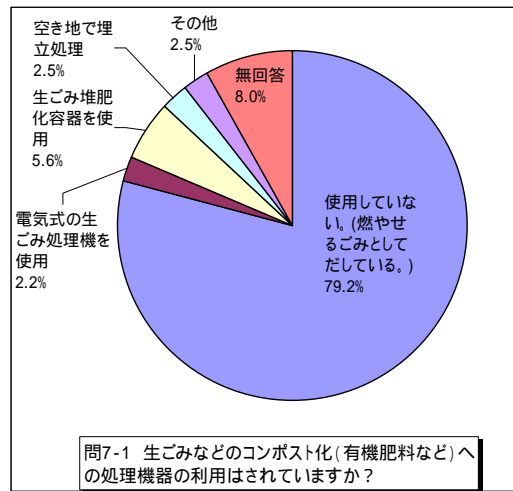
選択項目	人数	構成比
自宅等の清掃を行い、一時的に大量のごみが発生	132	62.6%
大型ごみの電話申込が面倒	79	37.4%
再生資源(新聞・古着等)の処理	19	9.0%
剪定し、大量の不要草木類が発生	53	25.1%
その他	18	8.5%
無回答	6	2.8%
合計	211	100.0%



問7 家庭での生ごみ・廃食用油・草木等の処理の仕方

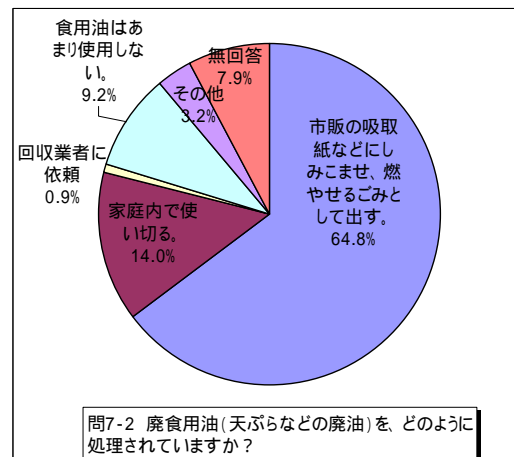
問7-1 生ごみなどのコンポスト化（有機肥料など）への処理機器の利用はされていますか？

選択項目	人数	構成比
使用していない。(燃やせるごみとしてだしている。)	542	79.2%
電気式の生ごみ処理機を使用	15	2.2%
生ごみ堆肥化容器を使用	38	5.6%
空き地で埋立処理	17	2.5%
その他	17	2.5%
無回答	55	8.0%
合計	684	100.0%



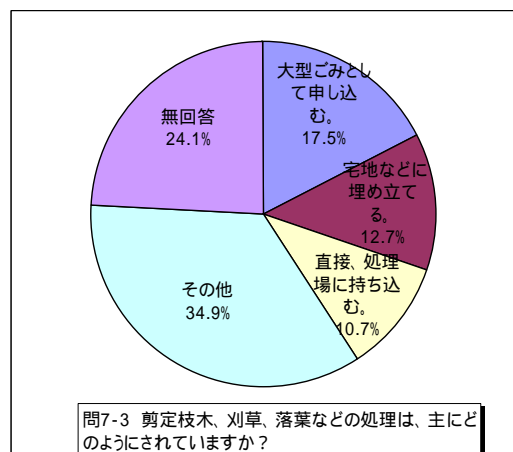
問7-2 廃食用油（天ぷらなどの廃油）を、どのように処理されていますか？

選択項目	人数	構成比
市販の吸収紙などにしみこませ、燃やせるごみとして出す。	443	64.8%
家庭内で使い切る。	96	14.0%
回収業者に依頼	6	0.9%
食用油はあまり使用しない。	63	9.2%
その他	22	3.2%
無回答	54	7.9%
合計	684	100.0%



問7-3 剪定枝木、刈草、落葉などの処理は、主にどのようにされていますか？

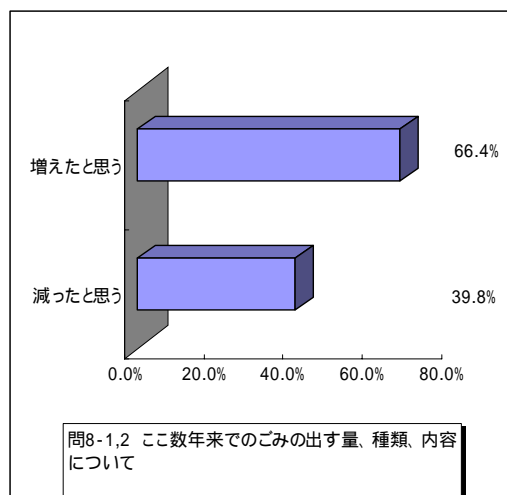
選択項目	人数	構成比
大型ごみとして申し込む。	120	17.5%
宅地などに埋め立てる。	87	12.7%
直接、処理場に持ち込む。	73	10.7%
その他	239	34.9%
無回答	165	24.1%
合計	684	100.0%



問 8 家庭ごみの排出量の増減

問 8-1、2 ここ数年来でのごみの出す量、種類、内容について。(重複回答あり)

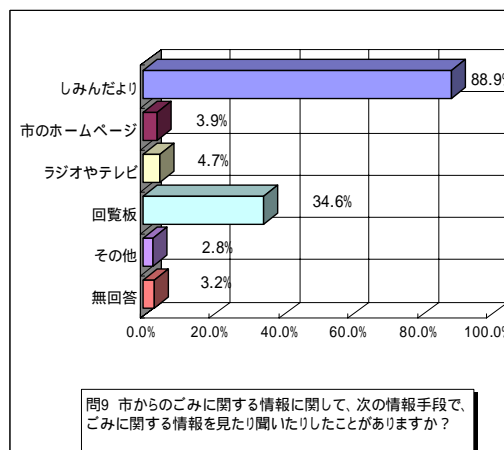
選択項目	人数	構成比
増えたと思う	454	66.4%
減ったと思う	272	39.8%
合計	684	100.0%



問 9 ごみに関する情報手段

問 9 市からのごみに関する情報に関して、次の情報手段で、ごみに関する情報を見たり聞いたりしたことがありますか？(複数回答可)

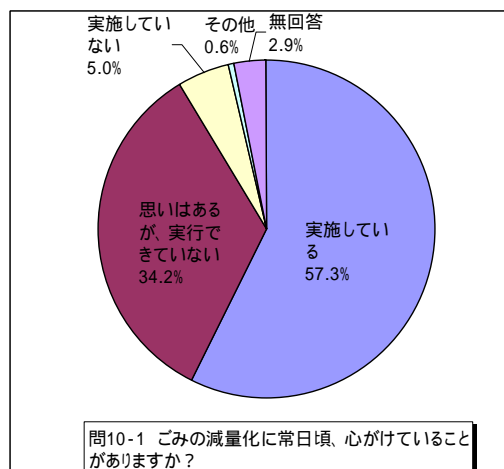
選択項目	人数	構成比
しみんだより	608	88.9%
市のホームページ	27	3.9%
ラジオやテレビ	32	4.7%
回覧板	237	34.6%
その他	19	2.8%
無回答	22	3.2%
合計	684	100.0%



問10、11 ごみの減量化について

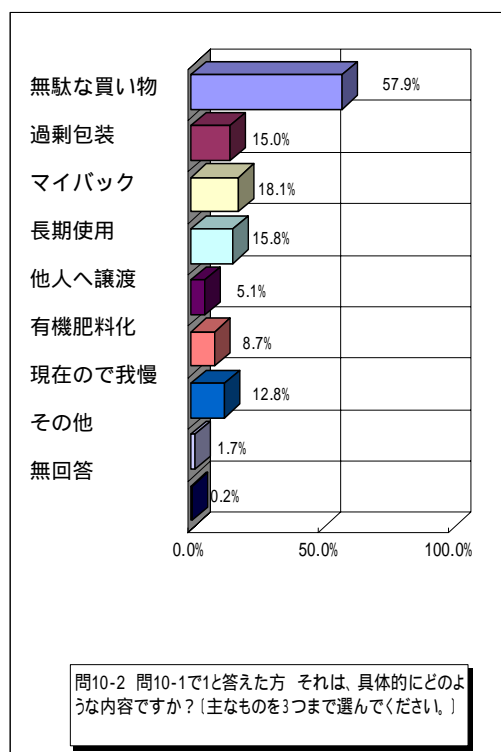
問10-1 ごみの減量化に常日頃、心がけていることがありますか？

選択項目	人数	構成比
実施している	392	57.3%
思いはあるが実行できていない	234	34.2%
実施していない	34	5.0%
その他	4	0.6%
無回答	20	2.9%
合計	684	100.0%



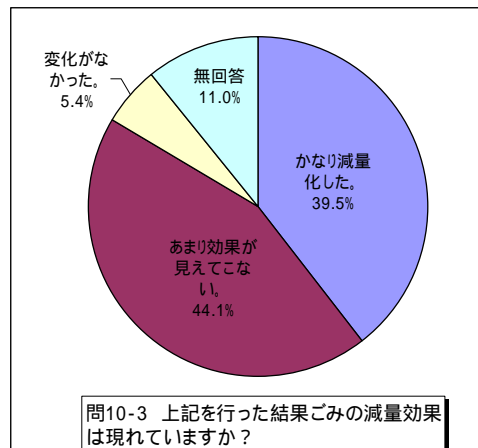
問10-2 問10-1で1と答えた方 それは、具体的にどのような内容ですか？〔主なものを3つまで選んでください。〕

選択項目	人数	構成比
無駄な買い物をできるだけしない。	227	57.9%
過剰な包装の商品を購入しない。	151	15.0%
買い物に出かけるときは、マイバックを持参する。	182	18.1%
物を大切に使い、修理をして長期間使用する。	159	15.8%
不用になった家財道具類は、他人にあげるなどして、ごみとして排出しないようにする。	51	5.1%
生ごみ・落葉などは宅地内に埋め立てて、有機肥料として活用している。	88	8.7%
新製品で欲しいものがあっても、現在使っているものがあれば我慢する。	129	12.8%
その他	17	1.7%
無回答	2	0.2%
合計	392	100.0%



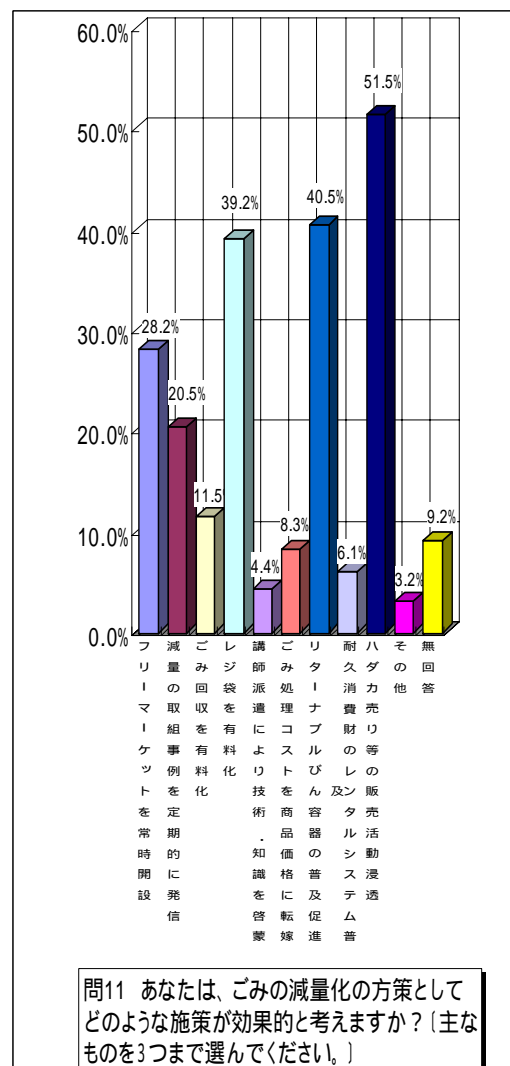
問 10-3 上記を行った結果ごみの減量効果は現れていますか？

選択項目	人数	構成比
かなり減量化した。	155	39.5%
あまり効果が見えてこない。	173	44.1%
変化がなかった。	21	5.4%
無回答	43	11.0%
合計	392	100.0%



問 11 あなたは、ごみの減量化の方策としてどのような施策が効果的と考えますか？〔主なものを3つまで選んでください。〕

選択項目	人数	構成比
フリーマーケットを常時開設し、不用品の交換セールを行う。	193	28.2%
交換りサイクルなどの減量の取組事例などを定期的な情報として発信する。	140	20.5%
ごみ回収を有料化し、排出するごみ量を抑制する。	79	11.5%
レジ袋を有料化し、マイバックを持参することにより容器包装類のごみ量を減らす。	268	39.2%
様々なごみ減量活動支援のための、講師を派遣してもらい技術・知識を普及啓蒙する。	30	4.4%
拡大生産者責任制度を導入し、ごみ処理のコスト相当額を商品価格に転嫁する。	57	8.3%
リターナブルびん容器（繰り返し使える容器）の普及促進と回収拠点の整備	277	40.5%
耐久消費財（テレビ・家具など）のレンタルシステムの普及	42	6.1%
ハダカ売り（無包装）・量り売り等の包装の少ない販売活動の浸透	352	51.5%
その他	22	3.2%
無回答	63	9.2%
合計	684	100.0%



4. その他意見書・要望事項の要約

問12で当該アンケート調査を通じて回答いただいた意見・要望を事項別に内容を集約しました。

(注：【 】内の数値は同様の主旨・内容で記述をいただいた方の数を示す)

(1) 商品の過剰包装が、ごみ増加の要因となっている。【14】

諸外国の市場風景などをテレビで拝見すると、日本ほどは過剰包装な国は無いと思う。買い物する度に「品物」と「包装」の半々に金を払っている様で不愉快だ。過剰な包装を実施しないよう企業等の指導を望む。

消費者が過剰包装の商品を買わない様に気をつけても、売る側に省資源化への意識が欠けていれば、ごみは増え続けて行く、製造・流通企業、行政、消費者の間で話し合い、抑制への新たなルールづくりが望まれる。

果実や野菜まで、不必要と思われるトレーやラップで密閉商品を多く見かけるが、無包装の「バラ売り」の新鮮な果物を買いたい。

ごみの排出増を消費者は、決して好んではない。商品とともに、商品を買った人が為の諸経費を別途負担させられていることを認識し、要は過剰包装の品物は買わない運動、活動が先決かも。

マイバッグやレジ袋問題以前に、デパート等での贈答品、お土産商品での過剰包装が、日本の生活文化となっているが、もっと簡素化できないか。

野放図になっているポスティングのチラシや情報企業からの通販カタログの送り付け、行政は、業者等に対してどの様な指導、監督が実施されているか知りたい。

乾物や加工食品などの袋詰め、見栄えの悪い商品には中皿が敷かれているが、売る側は必要な措置であることは理解できるが、消費者側にすれば無駄以外の何ものでない。

(2) ごみ有料化の動きと聞くが、ごみ減量への効果の程と不法投棄を懸念する。【22】

ごみの有料化を導入すれば、ごみの排出量は、継続して減少傾向が継続できるのか(?)むしろ、ごみの分別回収を可能な範囲で拡大、推進し、リサイクル[3R - 発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、循環(リサイクル)]を市民に徹底協力を願う方が、ごみ減量化方策としては好ましくないか。

行政が、ごみに対してシビアな施策を求めれば、不法投棄の要因となると予測される。特に、東部山間地での不法投棄が増えると地元関係者が心配している。

ごみ有料化すれば、我々の田舎の野山に不法投棄が増え、自然が荒廃すると困る。道端に、ごみが少量でも発生すると、輪をかけたようにごみ捨てに来る。ごみ捨て場化するので、厳しく取り締まり罰則を強化されることを合わせて望む。

このところ、かけ続けに税金や保険料などの高騰する中で、レジ袋は現在でも有効に活用しているのに市民へのこれ以上の負担は、小額であっても止めるよう要望する。ごみの有料化では、何のための地方税を支払っているのでしょうか、税金の二重負担

ではないか。

現状でも、細かいごみ分別にストレスを感じ、ごみ出し作業を実施しているのに、更に金銭負担となることは避けて欲しい。また、ごみの有料化やレジ袋の有料化を進めても住民の不満は募るばかりで、ごみ減量化には役立たないと思う。

ごみを捨てるのにお金を支払う、二宮金次郎さんの様に“人の気持ちが少しでもプラス志向となるよう”行政は、ごみが効率よく回収、処理が進むようなシステムを考えるべきだ。現在でも無責任で不分別なごみ出しを実施する者が多数存在する中で、地域自治の秩序を保つ上で、市は広範な包容力を持って施策の執行を願う。

毎日の買い物には、マイバッグを持参し、必要最小限のレジ袋を貰い、ごみ袋として活用しているのです。レジ袋の有料化及び新たなごみ袋を有料で調達し、ごみ排出する行為は無駄だし、ごみの排出量を逆に増加に結びつくのでは。

(3) ごみ分別の細分化を徹底すれば、リサイクルとごみ減量化が共に推進出来るのでは。

【20】

ごみの分別回収には、初めは大変でしたが、慣れると大変とは思いません。出来るだけ分別を細かくして、リサイクル可能なごみはリサイクルに回した方が環境に良いと思います。(新規合併村の者)

ごみの排出区分を徹底させる方策として、地元の老人会等の者に協力を得てゴミステーションの立会、分別状況の監視をお願いすることも検討してはどうか。

水曜日の「その他プラスチック」の回収時に、ペットボトルが混入していると、資源再生品目だからと言って放置されている場合がある。事業系ごみの中には、相当のペットボトルが混入して、清美工場に持ち込まれている情報が漏れ聞くが、公害発生、資源の有効利用という面からの整合性と、市民への説得ができ得ないので、事業系ごみの改善と指導を徹底するよう望む。

ごみ捨てマナーを守れない不心得者が居るゴミステーションでは、当日は、収集されず当番さんが自宅に持ち帰るか、警告書を貼り付けることとなり、大変に迷惑を被ることとなるが、その様な不心得者への対応策について、排出者の班(住所)、氏名を明記させ、責任を持つ、持たせるルール作りも将来的に検討をお願いする。

ごみ出しルールの中で、分別の細区分(複合素材で作られた商品)、本体とキャップの取り外し、シールの剥し、落葉や雑草などの取扱い区分が、市町村によって対応区分が異なり、「ごみ事典」などを参考に実施しているが、転居者による惑いがあり、県下市町村での統一した回収ルール、処理方法の違いを説明する必要がある。

また、ごみ出しルールの悪さは、マンション、ハイツ居住者とは特定できないが、前夜からの分別不備なごみを山のように持ち込む非常識者がおり、居住者のレベル向上が前提となる。

横浜市が、ごみ焼却施設の更新を取り止めた新聞記事を読むが、分別収集は、関係住民に取っては厄介だが、ごみが再生資源になれば良い事であり、この方法を当市でも採用したらと思います。

奈良市に昨年合併し、収集地域別カレンダーによる収集選別に戸惑いや、難しさも当初には在ったが慣れ、ゴミステーションの運営管理も当番制で順調に一年近くが過ぎたが、指導を願った公社の皆様には感謝を申し上げます。

燃やせないごみの対象品目（例えば、トレー、発泡スチロールなど）の拡大と回収回数を月2回程度に増やせないか。

(4) ごみの収集時間、場所についての要望【23】

ごみ回収場所（ゴミステーション等）の管理運営を当番制で跡片付け、清掃等を実施しているの、ごみの回収コース、時間帯にあまり変動が生じないよう協力をお願いします。

ごみ回収当番に当たった者は、当日 回収車が来るまでは、他に迷惑を掛けぬよう待機し、要事（子供の送り出し、勤務など）に都合をつけて役割、任務を果たす者が、大多数を占める状況なので理解と協力をお願いします。

市のごみ回収時間の設定（規定では8時30分までにごみ出し）と、当日の道路事情、ごみ排出量の多少等により回収時間の変動と各家庭での朝の出勤（行動、行程予定等）事情により、今回のアンケート調査でも“若干”早く、遅くの両面の要望意見もあり、噛み合わないが、コンスタントな時間帯での対応をお願いするとともに、当番の責任を全う出来るよう配慮されたい。

カラス等によるゴミステーションの攪乱、かき混ぜ防止を防ぐためにも回収時間が毎日一定の時間帯に来てくれるので、直前ごみ出しが可能で助かります。

居住者の高齢化等により、ごみ出し場まで運べない者も多くなり、地域隣接者による代行搬送などの支援体制やゴミステーションの増設を望む意見もあった。

マンションなどの集合住宅地区は、一つの回収区域に設定し、生活スタンスの共通性から、ゴミステーションも共同管理、民間委託などにして管理運営組織を居住者に任せることが、適切との内外者の意見が多かった。

ごみ回収車の巡回時に音楽を流す（放送）よう、常にどの時間帯に収集に来ている事を知らせるために要望があった。

奈良市は、祝日でもごみ回収を実施して頂けるので有り難いと感謝の意見もあった。

(5) 資源ごみの回収品目、回数、場所等の要望【23】

カン、ビン、ペットボトルなど、再生資源の回収回数を月1回では溜まり過ぎるので、月2回程度に増やせないか？

水曜日の「その他プラスチック」の回収日に、嵩張るトレー、発泡スチロール、卵パックに紙製の箱、有害の乾電池、蛍光灯などを追加、分別回収資源・ごみとして対応できないか。

「プラスチックやビン」容器類で、本体とキャップ、栓が異なった素材で、しかも切り離しが困難な容器が相当種あるが、分離、分別が可能な容器となるように使用企業に働きかけるべきと思うが。

世の中便利と言うか、贅沢な一度限りしか使用しない容器類が、大多数を占める時代となっているが、全てがごみとなり、この処理に市町村が困り果てている。原点に立ち帰り、再利用（リユース）を製造企業に義務づけるべきだと考える。

天ぷら食廃油を活用したバイオディーゼル燃料（BDF）化や石鹸づくり教室を開いたり、地域婦人団体等の協力を得て、リサイクルを促進するようPRを実施してほしい。

剪定ごみ、間伐材、竹材等の処理で、単に放置、燃やすので無く、何か活用する方法を検討しては。

(6) 大型ごみ収集と回収方法の見直しを。【22】

大型ごみの収集方法を電話による申込制度から、従前の年数回のごみステーション方式にて回収をお願いする。

電話による回収申し込み方式だと、申込者の日時が特定できず、不要品の搬出等の人手確保、段取りなどの不都合な事情もあり、また1回の申し込みで5ヶ程度の量を確保するには、ある程度の準備と保管のための期間と場所が必要となる。

蛍光灯や乾電池、ダンボール、古着なども、大型ごみの回収と一緒にお願い出来ないか。

春から秋に掛けて、大量に剪定ごみ、落葉が発生するので、この期間中の月に1回程度のごみステーション方式での新たな回収日を設けてほしい。

(7) ごみ回収場所（ステーション）の改善・要望等【10】

市から自治会等を通じ、ごみ回収場所の特定と整備などを要請されているが、意見多数と利害得失と適切な空間地も存在せず、また、現状のままでは、カラスの被害を受け、地区外者のごみ持込などもあり、特に既成市街地内での確立には相当の困難を来たす問題である。

高齢化に伴う身体不調なので、ごみステーションへのごみ出し、ごみ置場の当番制の役割が果たせなく、他人への迷惑を考え、自宅前での回収を望む意見も多く見受けた。

また、多くのアンケート調査協力者の中で、ごみ回収置場への跡片付け当番に出ることへの困難（仕事、勤めがあり出席できない、時間帯が都合が付かぬ、交換要員の確保、作業時間を遅らせるなど）を掲げる者が多かったが、核家族化（単身）、男性だから、などその理由は高齢化による身体の不調以外は記述が無かったが（？）

(8) 生ごみ再生利用を促進するためのコンポスト等の普及、啓発を望む。【10】

畑地を保有する家庭で、生ごみや落葉などのコンポスト処理を普及させる施策を事業化できないか。また、出来上がった堆肥を肥料として活用、提供できる方策も計画できないか。

生ごみを燃やすことなく、処理できる方策をシステム化できないか。

コンポスト容器具のレンタル費用を、ごみ有料化に絡めて施策、システムを考えられないか。

生ごみ処理機の設置に対する、市の補助援助制度の普及啓発と制度の拡充を望む。

- (9) 剪定、落葉など回収をルール化し、有機肥料としての活用方策の検討を望む。

【16】

夏場に剪定した葉や枝、草木類を大型ごみと別途、定期回収をルール化し、貴重な有機物を燃やさないで、有機肥料としての活用方策を検討すべきだ。

秋季となると、街路等の落葉を清掃するのは、近接者の役割となっているが、普通の燃やせるごみとして回収に出せないため処理に苦労をします。シーズン期間中だけでも、定期回収をお願いし、公共公園用等の有機肥料として活用を策を望む。

少量の剪定ごみは、燃えるごみとして回収を容認されたい。また、土、日の清掃工場への持込も認めて欲しい。

- (10) ごみ焼却場等の移転問題について【3】

現在の焼却場周辺まで住宅地が密集し、隣接して市立小学校があり、また、環境汚染も考えられるので、早期移転を進めて欲しい。

移転計画が進展していると聞くと、山間部への移転をさせないで。

- (11) フリーマーケット等の整備により、リサイクル資源の有効活用【7】

大阪豊中市から転居して来たが、奈良市には公認のフリーマーケットや廃材等を活用したりリサイクル工房など、物をリサイクルする楽しみ、創作する場を提供出来るよう力を入れて欲しい。

身の回りには捨て難い物や、高額なお金を支払ってまで新調し、度々使用する物でも無いなど、思い切って処理するとしているが、何処か、身近な所で融通し合える場があればと考えている。

長年愛用した家具を収集車が手荒く粉碎して、回収するのを目にするに、欲しい人に譲るとか、修理して安価に提供できる様なシステムが出来ればと思う。

市が開催している環境フェスティバルは大賛成ですが、常日頃からリサイクル情報がネットなどで得られればより便利だと考えます。更に、リサイクル事業を陰で支えてくれるボランティアの方々への援助や条件整備も進めてやって欲しいです。

資源リサイクルの回収も大変ですが、常時持ち込めるステーション、ストックする場所も確保できればベストだと思います。

- (12) レジ袋の活用について【5】

マイバッグ持参者にはポイントを与え、規定点数を得た者には指定ごみ袋と交換できるルールを採用し、ごみ減量と有料ごみ袋の推進を双方で支援する。

レジ袋の有料化制度を導入しても、排出するごみ量が減少、抑制する効果は、殆ど

期待できないのでは。

レジ袋の効用は、流通業者、消費者共に非常に軽量で嵩張らず安価で利便性と汎用性の高く、また、耐久性もあって何度も利用に耐えるなど重宝で有り難い袋である。更に、流通業者側からも、安価でお客様の要望に手短に商品を手渡せ、清算でき、更に、袋が透明、半透明であることが、盗難防止に寄与する利点も大きいとのこと。

(13) ごみ減量化には消費者の努力のみには限界がある。【15】

商品を製造販売するメーカー側が、過剰な包装は避け、また、リサイクルが容易で環境にも配慮した素材を使い続けないと、再々生利用が可能な製品として市場に流通させなくさせる。(合成樹脂加工での規格化、着色剤の使用禁止など)

地球資源が枯渇、石油が高騰する中で、資源の無駄使いが多すぎる、使い捨てのプラスチック容器、製品や、新聞の折込チラシなど、世の中無駄な商品、ごみが多量に放出し、循環型社会の形成とは無縁の企業・経済社会構造となっている。

家電機器なども耐久消費財として、ある程度の補修、メンテナンスを実施すれば長時間に渡り使用に耐えるが、現実には、修理を依頼してもメーカーには交換部品の在庫が無く、しかも、部品代よりも修理の為の技術とか、出張、送料などの修理諸経費の方が嵩むなど、結果的には使い捨て、廃棄が市町村の負担となっている。

欧州で一般化している飲料用ペットボトルの再使用(リユース)が、国内の業界の共同回収により、同一のボトルが、30回程度の詰め替え飲料品と流通しているが、日本では使い捨てで回収も、採算上の問題なのか、実施せず。また、ボトルをボトルとしての再生技術も100%と可能としているが、実行する企業側の意識は見受けられず、ただ、良く理解は出来かねるが、現行の食品衛生法の一部が抵触するとの事であると聞くと、製造過程の一部改善と法改正を実施すれば容易な問題であるが、本質的な課題解決への動きは、見えて来ない。

(14) ごみ行政等について【28】

ごみ処理業務が如何に大変な問題(減量化、省エネ、環境など)であるかを市民に伝え、認識を深めて頂く必要があるので、常に情報の発信をお願いする。

回収された後のごみの行方等を知らせて欲しい、環境の悪化、進展を考えるに、ドイツ式的环境対策を徹底して進めて欲しい。

環境問題は、子供や孫たちに保全し、残してやりたい、幼児の時から、考え理解できるように教える必要がある。

ごみ行政には莫大な経費と人件費が嵩むし、リサイクル処理、最終埋立処理まで考慮すると、限りなく環境保全対策で問題が生じることも考えられる。将来的には民間委託方式も検討しては。

奈良市が現在、実施しているごみの回収、処理処分の体系及びリサイクル回収業務等に対する市民の認識と理解度にギャップが生じてはいないか(？)。また、近い将来の地球環境にどのような影響をもたらすのかも想定した行方も情報として伝えてる

ことも含めて、ごみ処理問題の普及啓発を努力して欲しい。

(15) その他【27】

ごみ分別されない事業系（業者回収）ごみを目にするが、一般家庭ごみのみに、一生懸命分別に励んでも無駄に思えてならないが。

一般家庭で分別したごみの最終処理でも“キッチン”と分別処理されて状況を知りたい。

孫達に美しい地球、奈良を残すために、一人一人がもっと自覚してごみ処理問題に取り組まなければならない問題ですと認識した。

5. アンケート結果の概要

(注):《 》内数値は複数回答による値

(1) 問2 - 1 〔家庭でのごみ担当者は〕

あなたの家庭でのごみ整理、ごみ出しの役割分担は誰方ですか？

ほぼ決まっている(95.8%)

問2 - 2 〔ゴミの分別・保管〕

ごみの区分毎にごみ箱(袋)は分別してますか？

している(97.4%)

また、分別したごみ箱の数は？

2~5個が(80.6%)、6個以上が(14.0%)であった。

ごみの保管場所は？

軒下・ベランダが《63.5%》、室内《52.5%》、物置《16.5%》で、
保管容器は？

ポリタンク(ボックス)が《63.3%》でビニール製袋《55.6%》が主であった。

(2) 問3 〔ごみ回収場所〕

あなたの家のごみ回収場所(ごみ置場・ごみステーション)は決まっていますか？

決まっている(80.6%)、自宅前の道路(12.7%)です。地域別では自宅前の道路が「その他の地域」で(20.1%)と若干多くなっている。

また、ごみ回収場所までの搬送距離は？

50m以内(66.2%)、50~100m以内(22.0%)、100m以上(6.5%)と比較的に至近距離に位置するが、東部地域では、200m以上が(17.9%)、月ヶ瀬・都祁地域では(19.0%)と、地理的な事情もあって遠距離となっている。

回収場所の設定は？

町内各自治会、又は班で協議して(47.9%)、既に住宅地区内で用地が決定していた(32.6%)、その他、各個人で適宜ごみ出し場所を決めている(自宅前の電柱、隣地境界など)(4.2%)となっていた。

また、ごみ置場の構造は？

特段な囲いなど無く道路等の空地(35.0%)、ブロックなどで周囲を固定している(32.1%)、金網などのボックスにより周囲を囲む(22.0%)となっている。

さらに、鳥獣類からの防護柵としては？

ネット(38.3%)、ブルーシート(13.2%)、特に何もホ口を実施しない(24.5%)であった。

1ヶ所のごみ回収場所に関する世帯数は？

21戸以上(36.5%)、11~20戸(32.7%)と11戸以上を対象とするごみステーションが7割を占め、6~10戸規模は(20.9%)であった。

また、ごみステーションの管理運営は？

関係者による輪番による当番制を取る(45.2%)が最も多く、住宅に管理者・会

社が実施（27.4%）、ごみ置場に隣接する一部の者がボランティア的に実施（15.6%）となっている。

ごみ置場へ不分別なごみ及び区域外からの不法持込みなどのトラブルの有無は？

時たまある（33.8%）、度々ある（13.6%）など不心得な者が同一街区及び隣接区域から夜間に悪意に投げ込む事例もあるようで、分からない（19.1%）、ない（30.5%）など認識されてないケースもあり、市民への理解と協力が前提のごみ回収、処理業務を推進する上での重要な課題であり、マナー、意識改革が求められる。

(3) 問4 〔資源回収〕

市が回収する資源ごみの回収ステーションまでの距離は？

100m 以内（63.9%）、100～200m が（17.5%）と、回収エリアの広域化により、リサイクル制度へのルール、マナーなどの理解と合わせて分別に不備が無いよう市民の協力をお願いしたい。

市が実施する資源回収とは別途に、町内会及び子供会などで実施する団体回収組織は2/3 地区で実施いただいている。回収品目も新聞《87.8%》、雑誌《83.7%》、ダンボール《80.0%》、古着《69.5%》、空き缶《33.3%》など、市がリサイクルを扱っていない品目や収益性の高い廃品を主体に実施されている。

また、不用家具や廃家電製品の回収業者が頻繁に巡回に来るが売却処分を実施した経験を問うと

ある（28.8%）に対比して、ないとの回答が（63.6%）多かった。なお、回収業者等を活用する場合、家電リサイクル法に基づく、リサイクル料金、回収運搬料金などの設定がメーカー毎に規定されていて、不信な場合には不法処理、海外等への横流し・輸出などが考えられるので慎重な対応が望まれる。

資源回収に対する要望として

資源回収頻度を月2回に（35.4%）、回収品目の追加（32.9%）、ごみ袋での排出（11.5%）、回収場所を増やす（7.0%）などの要望があった。

(4) 問5 〔ごみ排出時に使用するごみ袋について〕

各家庭で「燃えるごみ」を排出するときに使用するごみ袋の種類を問うに

多い順序に、市販 45（47.1%）、レジ袋の大（22.5%）、レジ袋の中（7.6%）、市販の 30（6.7%）、その他（4.1%）と云う結果だった。その使用する要因、理由は判明できないが、ごみの（ア）搬出量と使用する袋に入る容量と重量、（イ）持ち運びの容易性、（ウ）既成のレジ袋などの再利用と耐久性・経済性なども考えられるが、小袋、中袋の使用も相当に存在すると思われるが、簡易で利便性に富む袋も、我が国の年間原油輸入量に対する割合は、0.23%に相当するとの事です。

(5) 問6 〔大型ごみと持込みごみ〕

大型ごみの回収を最近1年間で何回申込まれたか？

申込みなし（41.8%）、1～2回（38.7%）、3～4回（9.5%）、5回以上（1.2%）で

あった。

また環境清美工場への直接持ち込みは？

持ち込みなし（60.4%）、1～2回（19.0%）、3～4回（8.3%）、5～6回（1.9%）、7回以上（1.6%）とまとまったごみが発生した場合の、即断即決し渋滞行列を前提に持ち込む者が約3割の者で利用されている。

持ち込む理由として？

大掃除など一時に多量のごみが発生（62.6%）、大型ごみの申込み手続きが面倒（37.4%）、剪定・草刈作業を実施し処理できない（25.1%）、新聞・ダンボール・古着などの処理（9.0%）が主なる理由としている。

(6) 問7〔生ごみ、食廃油、剪定ごみの再資源化〕

生ごみ（台所等）のコンポスト（有機肥料）処理機器などの使用は？

使用なし（燃やせるごみとして）（79.2%）で最も多く、電気式生ごみ処理機を使用（2.2%）、生ごみ堆肥器（コンポスト）を使用（5.6%）、空地へ埋立て処理（2.5%）と1割程度しか有機肥料として土地に還元されていない。

廃食用油（天ぷらなどの廃油）をどのように処理されているか？

市販の吸収紙などにしみこませ燃やせるごみとして（64.8%）、家庭内で使い切る（14.0%）、回収業者に依頼する（0.9%）で、天ぷらは面倒だから自家料理はしない（9.2%）と廃油処理が課題となっている。

剪定枝木、刈草、落葉の処理は主としてどのように処理されていますか？

大型ごみに申し込む（17.5%）、宅地などに埋め込む（12.7%）、直接清美工場へ持ち込む（10.7%）で、その他が（34.9%）であった。その他の具体的な内容は判明でないが、依頼業者の持ち帰り、少量であれば小分けに分離し燃やせるごみに忍ばせるが、一定の資源として量がまとまれば、貴重な資源のリサイクルする方策も重要と考える。

(7) 問8〔ここ数年来のごみ出し量への思いは〕

あなたの家庭でのごみを出す量は“増えたか”、“減ったか”？

増えたと思うと答えた者は（66.4%）に対比し、減ったと思う者は（39.8%）と、奈良市の統計数値では平成11年以降は僅かずつ減少してきているが、思いは増加と見えている。

(8) 問9〔市からのごみ情報は何を多く知るか〕

奈良市からの清掃業務に関するお知らせ、情報は何を聞きして知ったか？

一番多かったのが「しみんだより」が（88.9%）、回覧板（34.6%）、ラジオ・テレビ（4.7%）、ホームページ（3.9%）、その他（2.8%）であった。

(9) 問10〔ごみ減量化への意識と方策〕

常日頃、ごみ減量化に向けて、心がけていますか？

実施している（57.3%）、思いはあるが実行はできてない（34.2%）、実施していない（5.0%）、その他（0.6%）、無回答（2.9%）の構成であった。

で減量化に向けて行動を実施している者に、具体的にその内容はと伺う（3つまで

複数回答)と

無駄な買い物は実施しない(57.9%)、買い物にはマイバッグを持参する(18.1%)、物は大切に修理して長く使う(15.8%)、過剰包装の商品は買わない(15.0%)、新製品で欲しいものが発売されても我慢する(12.8%)、生ごみ・落葉は有機肥料として活用(8.7%)、不用家具類などが発生したら他人に譲る(5.1%)の順位であった。

上記の努力の結果、減量効果は現れていますか？

かなり減量化した(39.5%)、あまり効果が見えてこない(44.1%)、変化がない(5.4%)、無回答(11.0%)の構成であった。

(10) 問 11 〔ごみ減量化の方策としてごみ施策が効果的か〕

あなたは、減量化方策として、どのような施策が効果的と考えますか？《複数回答》
無包装のバラ、ハダカ売り、量り売りの浸透《51.5%》、リターナブルビン容器による販売普及《40.5%》、レジ袋の有料化とマイバッグ持参《39.2%》、フリーマーケットの常設と不用品の交換セール《28.2%》、交換リサイクルなどの減量取組み事例などの情報を定期的に発信する《20.5%》、ごみ有料化し排出抑制《11.5%》、拡大生産者責任制度の導入とごみ処理コスト相当額を負担《8.3%》、耐久消費財製品のレンタル制度の普及《6.1%》、ごみ減量化技術、知識の普及啓発《4.4%》などの順序であった。

6. 考 察

今回のアンケート調査実施を通じて得た情報で、ごみ回収の実態と課題、意見・要望について、前記のように要約をさせていただきました。特に意見要望については208名の方が、延べ245項目にわたる記述を頂きました。その内容も相当多岐に及び15項目に分類して整理・集約を実施しました。その中で私どもごみ懇談会の活動の中で、今後とも観光都市奈良として自然環境に配慮した美しい街となることを期待し、ごみ行政に対する課題と要請事項等を取りまとめ考察としました。

- (1) ごみ分別の一層の徹底により、リサイクルの推進とごみ減量が進展し、資源循環型社会の形成と地球温暖化防止に寄与することを望む。
- (2) 生ごみ等（剪定枝、草木類、落葉などを含む）の有機性廃棄物から可燃性バイオガスの回収と残渣の堆肥化などの有効利用を図るため複合リサイクル施設の整備に期待する。
- (3) 廃食用油（植物性）の集団回収組織化を進め、バイオディーゼル燃料としての精製を行い、低公害燃料としてごみ回収、一部公用車などに活用する。
なお、バイオディーゼル燃料は化石燃料と同様に燃焼によって、二酸化炭素(CO₂)は発生しますが、しかし、バイオガス燃料は植物成長の過程で光合成作用により、二酸化炭素を吸収していることから、循環サイクル（カーボンニュートラル）として、大気中に二酸化炭素の排出量の増減に影響をもたらすことがないクリーンエネルギーなのです。更に自動車排気ガス中の黒煙を大幅に軽減し、また酸性雨の原因ともなる硫黄酸化物もほとんど発生しないという利点もあります。
- (4) フリーマーケット等の整備によるリサイクル資源の有効活用を望む。毎年、春秋に定期開催する環境フェスティバルでのフリーマーケット・100円均一セールなどの盛況を見るに、身の回りには新調したがサイズが合わない、高額なお金をはたいて買ったが度々使用する物で無い、思い切って処分するにも捨て難い物など、何処か身近な所で融通しあえる場があればと考える者が以外と多いこと、長年愛用した家具等を「粗大ごみ」として搬出する場合に、市の収集車が手荒く粉碎して回収するのを目にするに、欲しい人に安価に提供できるシステムでもあれば、廃材等を活用して、物をリサイクルする楽しみや創作するリサイクル工房の設置、常日頃からリサイクル情報が得られるステーションやネットで得られる拠点があればと望む方への対応として資源の有効活用とごみ減量に寄与する方策として期待する。
- (5) 分別されない事業系（回収業者）ごみの回収状況を目にするに、一般家庭ごみに一生懸命分別作業に励んでも無駄に思えてならない。同じごみ処理工場のピットにほり込まれたら致しようも無い。回収車のごみ点検を執行してはどうかと強く望む。
- (6) ごみ減量化には、消費者、市町村だけの努力のみでは限界がある。従前は、個別

のリサイクル促進法で進められて来たが、資源循環型社会の構築を図るため、平成12年5月に枠組み法として「循環型社会形成推進基本法」が制定され、廃棄物等の発生抑制（リデュース） 循環資源の循環的な再利用（リユース） 再生利用（リサイクル）等の適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負担を低減される循環型社会に向けて、国、地方公共団体、事業者及び国民（消費者）それぞれの役割分担（排出者責任（責務））が明確化された。特に、生産者（事業者）は、自ら生産する製品等については、使用され廃棄物となった後まで一定の責任を負う「拡大生産者責任」の一般原則の確立により、再資源・再生の循環システムの処理する方が、社会コストも少なく、再資源化も実効がある。従前（現行？）のリサイクル制度の執行方式では、アルミ缶を除く品目でリサイクルを促進すれば実施するほど市町村の一般財政持ち出しが嵩むという矛盾が、財政破綻を招くこととなっている。

リターナルびんのように、消費者が販売店に全て返還する（デポジット方式も含む。）と流通業者は、生産者に戻す方法が容器がごみとならずに生産者も省エネルギーで再商品化できる。しかし、現行の製品、包装事情は消費者の消費ニーズでの選択余地はほとんどなく、再生産商品、リサイクル商品を購入する意識があっても製品がなく、実状は、非環境性を奇貨としている生産者は、消費性向に便乗して消費廃棄物の大量生産・供給を行っている。

消費者の責任が皆無とは言えないが生産者の責任ははるかに大きく「循環型社会形成推進法」の制定は、「拡大生産者責任」の義務付け、追及を基本に定められた法律であり、市町村のごみ処理責任の軽減、製造者の責任拡大という基本的な方向で、遂行されなければならない原因者負担であり、発生要因を作り出した者、事業者がより多く負担すべきと理解する。

しかし、事業者が負担しても価格に転嫁されることが一般的で結果として消費者も負担するのである。その意味では、市民に費用負担を求める家電・自動車リサイクル法は時代に逆行するシステムであると言える。

(7) 去る2月1日パリで開催された「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第1作業部会」で第4次評価報告書（5年ぶり）が報告され承認された。

その報告の中で、温暖化は確実に進み、温暖化の原因は人間活動による温室効果ガス排出である可能性がかなり高い（90%）と確証された。21世紀末には、循環型社会を実現すれば約1.8度（1.1～2.9度/1980～99年平均気温に比べ）上昇する。化石燃料に依存し高度経済成長した場合は約4.0度（2.4～6.4度）と幅はあるが、気温上昇が避けられないと予測し、温室効果ガス削減と気温上昇で起きる事態への対応措置を強く迫る内容となっている。

また、温暖化を止めるには、前半世紀で排出量の50～60%削減する確固たる対策を今すぐ取れば、最悪の危機を避ける時間は残されているとし、今後10～20年間での投資が決定的に重要で、二酸化炭素の濃度を500～550ppm以下に抑えるには、世界のGDPの1%が必要であり巨額であるが、放置した場合の損失よりもず

っと少ないとし、世界各国に一致した協力して取り組むべき緊急を要する課題となっている。

- (8) 我が国におけるごみの焼却処分による温室効果ガスの推定排出量、寄与度は約 4% 程度（京都議定書の提言時の値）と僅かと理解される嫌いがあるが、しかし、子どもや孫達の生きていくための地球環境を保全し、引き継ぐためにも、ごみ問題を含む二酸化炭素の排出を最小限に止める行動（5～6 割削減）を今日から、1 人 1 人が実行しないと取り返しの付かない状況になってしまうと報道されている。

最後になりましたが、今回のアンケート調査実施に当たりご協力を賜った市民の皆様に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

（文責 ごみ懇談会代表 片山信行）

一般家庭ごみアンケート調査票

市民のみなさまへ

奈良市環境清美部企画総務課
奈良市ごみ懇談会

平素は、市のごみ減量・再生資源の分別排出にご協力をいただきありがとうございます。

さて、市が現在の9種12品目に分別回収を開始して、7年が経過しようとしております。このところの社会事情・各家庭での生活スタンスなどの激変により、ごみの内容が質・量とも相当変化をきたしております。そこで、今回最近時のごみ発生・排出状況の把握とごみ処理計画の検討を進める上の基礎資料とする目的から、実態調査を実施することになりましたのでご協力をお願いします。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、以下のアンケートにご記入の上、同封の返信用封筒で 月 日()までにご返送いただきますよう、よろしくお願いいたします。なお、今回の調査につきましては、市民の意見反映のためごみ懇談会(市のごみ減量学習会の有志の団体)と奈良市企画総務課との共同企画で調査を実施させていただいております。

また、本調査の結果につきましては、統計的な分析結果を活用するもので、ご協力を頂いた皆様の個人情報・数値を個別に公表することは一切ありません。

本アンケートに関して、ご不明な点がございましたら、下記の担当者までご連絡ください。

[問い合わせ先] 奈良市環境清美部企画総務課 指導係
担当： 小西、久保田、西川 71 3001

以下の設問に該当する項目番号に 印、または該当する箇所に記述してください。

【問1】 あなたの居住地(小学校区)を記入してください。

(住所) 奈良市 町(小学校区名)
(性別) (年齢) 歳代 (世帯人員) 人
(居住形態) 戸建住宅・集合住宅(マンション・アパート)・その他()

【問2】 あなたの家庭でごみの担当者のごみ箱についてお聞きかせください。

- あなたの家庭で、ごみの整理・ごみ出しなどの役割は主としてどなたが担当されていますか？
 1. ほぼ決まっている。 → 家族のどなたが行っていますか？
(記入者から見た関係をお書きください。)
 2. 本人 3. 夫 4. 妻 5. 父 6. 母
 7. 祖父 8. 祖母 9. 子(男) 10. 子(女) 11. その他()
 12. 決まっていない。
- あなたの家庭で、ごみ箱はごみの種類によって分離されていますか？
 13. いる。 14. いない。
- で分けられたごみ箱の数は、何種類(個・袋)に分けていますか？
 15. 1個のみ 16. 2~5個 17. 6個以上
- ごみを市の回収日までの期間、保管場所・容器はどの様な方法で実施されていますか？(複数回答可)

(場所) 18. 室内 19. 軒下・ベランダ 20. 物置 21. その他()

(容器) 22. ポリボックス(タンク) 23. 木箱 24. ビニール製袋 25. その他()

【問3】 市がごみを回収に来る場所についてお聞きかせください。

- あなたの家のごみを回収する場所はどこですか？
 26. 自宅前の道路
 27. ごみ置場・ごみステーション（複数世帯が使用のごみを出す回収場所のことをいう。）は、
┌
└───▶ 家からどの程度の距離ですか？（集合住宅の場合は階段の距離も含む。）
 28. 50m以内
 29. 50m～100m以内
 30. 100m～200m以内
 31. 200m以上
- あなたのごみ回収場所はどのように決められた場所ですか？
 32. 分譲団地の中にごみ置場・ごみステーション区画が排出場所が決まっていた。
 33. 自治会(班など)で決定する。
 34. 関係者の申し合わせで決めている。
 35. 各個人が適宜ごみ出し場所を決めている。
 36. その他()
- 以下ごみ置場・ごみステーションを使用されている方におたずねします。→ それ以外の方は【問4】へ
ごみステーションは、どの様な構造になっていますか？
 37. コンクリート・ブロック製の壁で囲まれている。
 38. 木または金属製の箱・網で囲う。
 39. 特別な施設(囲い)のない道路・歩道・空き地など
 40. その他()
- 鳥獣類からのごみの荒らし被害を防ぐ方策は、どのようにされていますか？（複数回答可）
 41. ネット
 42. ブルーシート
 43. 擬似おとし類
 44. なし。
 45. その他()
- 同じごみステーションにごみ出しする関係世帯数は何戸程度ですか？
 46. 5戸以下
 47. 6戸～10戸
 48. 11戸～20戸
 49. 21戸以上
- あなたの使っているごみステーションに不法持込やまったく分別されていないごみ等などが出されるといったトラブルが発生したことがありますか？
 50. 度々ある。
 51. 時々ある。
 52. ない。
 53. 分からない。
- ごみステーションの清掃やあと片付けなどの管理は、どのような管理方法で実施されていますか？
 54. 当番制で実施している。
 55. 一部のものが実施
 56. 住宅の管理者・会社が実施
 57. その他()

【問4】 缶・びん・ペットボトル・紙パックなどの資源リサイクルについてお聞きかせください。

- 市が回収する資源ごみの回収する場所は、家からどの程度の距離にありますか？
(集合住宅の場合は階段の距離も含む。)
 58. 100m以内
 59. 100m～200m以内
 60. 200m～300m以内
 61. 300m～500m以内
 62. 500m以上
- あなたの住んでいる町内で自治会等(町内会・子供会など)が別途に再生資源の集団回収を実施されていますか？
 63. 実施していない。
 64. 実施している。→ それは、どのような団体で実施されているかを判ればご記入ください。
() (関係)(例：自治会、子供会、福祉関係など)
 65. 実施されている場合どのような品目を出されていますか？（複数回答可）
┌
└──▶ 66.新聞 67.雑誌 68.ダンボール 69.古着 70.空き缶 71.その他()

- あなたの家で、不用家具、家電製品などを回収業者やリサイクルショップに売却などの処分したことがありますか？
72. ある。 73. ない。
- 資源の回収方法で要望事項についてお聞かせください。(2つまで選んでください。)
74. 回収の頻度を月2回に増やして欲しい。
75. 回収できるものとできないものとの区分掲示板を、回収場所に表示して欲しい。
76. コンテナ・網袋でなく、ごみ袋で排出できるようにして欲しい。
77. 回収場所を増やして欲しい。
78. 回収できる品目(新聞紙・古着・廃食油など)を追加して欲しい。
79. その他()

【問5】あなたの家庭で使用されているごみ袋についてお聞かせください。

- あなたが燃やせるごみを排出するときに使用するごみ袋は、主にどのような袋を使用していますか？
80. 市販の45 81. 市販の30 82. 市販の20
83. レジ袋(大) 84. レジ袋(中) 85. その他()
(注)レジ袋の規格サイズ(横×縦)は、大袋(L)45×55cm、中袋(M)40×47cm、小袋(S)28×40cm程度の大きさを参考とする。
- あなたがその他プラスチックを排出するときに使用するごみ袋は、主にどのような袋を使用していますか？
86. 市販の45 87. 市販の30 88. 市販の20
89. レジ袋(大) 90. レジ袋(中) 91. その他()

【問6】大型ごみの申込と清美工場への直接搬入ごみについてお聞かせください。

- あなたの家庭では、大型ごみを最近1年間で何回申し込まれましたか？
92. 申込みなし 93. 1~2回 94. 3~4回 95. 5回以上
- 環境清美工場への直接持ち込みを最近1年間で何回持ち込まれましたか？
96. 持ち込みなし 97. 1~2回 98. 3~4回 99. 5~6回 100. 7回以上
- 環境清美工場へ直接持ち込みされた方にお聞きします。直接持ち込みの主な理由をお聞かせください。
(2つまで選んでください。)
101. 自宅等の清掃を行い、一時的に大量のごみが発生したため。
102. 大型ごみの電話申込が面倒なため。
103. 再生資源(新聞・古着等)の処理のため。
104. 草木を剪定し、大量の不要草木類が発生し、その処理のため。
105. その他()

【問7】あなたの家庭での生ごみ等の処理の仕方についてお聞かせください。

- 生ごみなどのコンポスト化(有機肥料など)への処理機器の利用はされていますか？
106. 使用していない。(燃やせるごみとしてだしている。) 107. 電気式の生ごみ処理機を使用
108. 生ごみ堆肥化容器を使用 109. 空き地で埋立処理
110. その他()
- 廃食用油(天ぷらなどの廃油)を、どのように処理されていますか？
111. 市販の吸収紙などにしみこませ、燃やせるごみとして出す。 112. 家庭内で使い切る。
113. 回収業者に依頼 114. 食用油はあまり使用しない。 115. その他()
- 剪定枝木、刈草、落葉などの処理は、主にどのようにされていますか？
116. 大型ごみとして申し込む。 117. 宅地などに埋め立てる。
118. 直接、処理場に持ち込む。 119. その他()

【問8】 あなたの家庭ごみ排出量の質、種類などについてお聞きかせください。

- ここ数年来でのごみの出す量、種類、内容について
- 120. 増えたと思われるごみの種類()
- 121. 減ったと思われるごみの種類()

【問9】 市からのごみに関する情報についてお聞きかせください。(複数回答可)

次の情報手段で、ごみに関する情報を見たり聞いたりしたことがありますか？

- 122. しみんだより 123. 市のホームページ 124. ラジオやテレビ 125. 回覧板
- 126. その他()

【問10】 あなたの家庭のごみ減量についてお聞きかせください。

- ごみの減量化に常日頃、心がけていることがありますか？
- 127. 実施している。 128. 思いはあるが、実行できていない。
- 129. 実施していない。 130. その他()

- で心がけているとお答えの方にお伺いします。それは、具体的にどのような内容ですか？
〔主なものを3つまで選んでください。〕
- 131. 無駄な買い物をできるだけしない。
- 132. 過剰な包装の商品を購入しない。
- 133. 買い物に出かけるときは、マイバック(買い物袋)を持参する。
- 134. 物を大切に使い、修理をして長期間使用する。
- 135. 不用になった家財道具類は、他人にあげるなどして、ごみとして排出しないようにする。
- 136. 生ごみ・落葉などは宅地内に埋め立てて、有機肥料として活用している。
- 137. 新製品で欲しいものがあったても、現在使っているものがあれば我慢する。
- 138. その他()

- 上記の 、 を行った結果ごみの減量効果は現れていますか？
- 139. かなり減量化した。 140. あまり効果が見えてこない。 141. 変化がなかった。

【問11】 ごみの減量化の施策についてお聞きかせください。

あなたは、ごみの減量化の方策としてどのような施策が効果的と考えますか？

〔主なものを3つまで選んでください。〕

- 142. フリーマーケットを常時開設し、不用品の交換セールを行う。
- 143. 交換リサイクルなどの減量の取組事例などを定期的な情報として発信する。
- 144. ごみ回収を有料化し、排出するごみ量を抑制する。
- 145. レジ袋を有料化し、マイバックを持参することにより容器包装類のごみ量を減らす。
- 146. 様々なごみ減量活動支援のための、講師を派遣してもらい技術・知識を普及啓蒙する。
- 147. 拡大生産者責任制度を導入し、ごみ処理のコスト相当額を商品価格に転嫁する。
- 148. リターナブルびん容器(繰り返し使える容器)の普及促進と回収拠点の整備
- 149. 耐久消費財(テレビ・家具など)のレンタルシステムの普及
- 150. ハダカ売り(無包装)・量り売り等の包装の少ない販売活動の浸透
- 151. その他()

【問12】 その他、当該アンケート調査を通じ、ごみに関するご意見・要望があればご自由にお書きください。

アンケート調査にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

平成18年度 ごみ・再生資源搬入量

ごみ搬入量

1. 総搬入量		113,906.84t
可燃ごみ	86.5%	98,534.92t
不燃ごみ(大型・有害含む)	11.6%	13,156.69t
埋立ごみ	1.9%	2,215.23t
2. 1日平均(4/1~3/31 365日間)		312.07t
可燃ごみ		269.96t
不燃ごみ(大型・有害含む)		36.05t
埋立ごみ		6.07t
3. 一人1日平均排出量		
平成19年4月1日	370,852 人	842g
4. 一世帯1日平均排出量		
平成19年4月1日	149,230 世帯	2,091g
5. 家庭系・事業系別ごみ搬入量		

(単位:t)

		平成17年度		平成18年度		前年度対比	
		搬入量	占有率	搬入量	占有率	増減量	増減率
家庭系	可燃	56,446.49	49.0%	55,428.16	48.7%	-1,018.33	-1.80%
	不燃	6,511.84	5.7%	6,756.67	5.9%	244.83	3.76%
	大型	3,466.30	3.0%	3,487.55	3.1%	21.25	0.61%
	埋立	1,624.27	1.4%	1,860.50	1.6%	236.23	14.54%
	有害	7.06	0.0%	4.27	0.0%	-2.79	-39.52%
	小計	68,055.96	59.1%	67,537.15	59.3%	-518.81	-0.76%
事業系	可燃	43,607.60	37.9%	43,106.76	37.8%	-500.84	-1.15%
	不燃	3,084.92	2.6%	2,908.20	2.6%	-176.72	-5.73%
	埋立	426.20	0.4%	354.73	0.3%	-71.47	-16.77%
	小計	47,118.72	40.9%	46,369.69	40.7%	-749.03	-1.59%
合計		115,174.68	100.0%	113,906.84	100.0%	-1,267.84	-1.10%

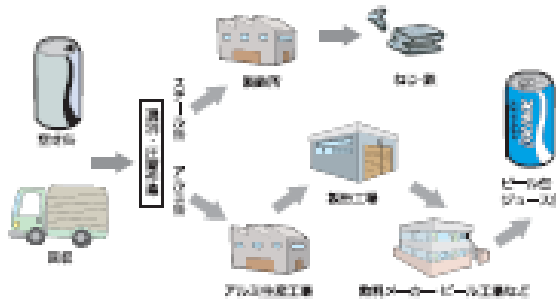
ごみの分別収集にご協力いただき
ありがとうございます

●再生資源の処理について

リサイクルするため、中身を使い切り、汚れを取って出してください。

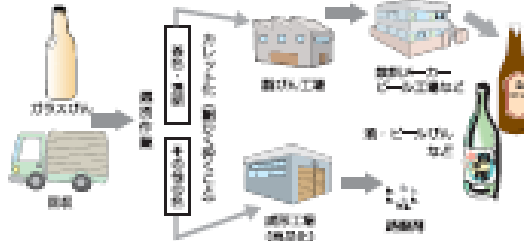
空き缶

空き缶は、アルミ缶とスチール缶に選別
アルミ缶はアルミ缶に再生し、スチール缶は建
築用資材などの部品の原料にします。



ガラスびん

飲み物、食べ物の入っていたガラスびんは、色
別に分けてリサイクル
一升びんやビールびんなどのリターナブルびんは、
きれいに洗って何度も使うことができます。
割れたびんや一度しか使えないびんは、色別
に分けた後、溶かしてもう一度びんを作ったり、
路盤剤になります。



混ぜればゴミ
分ければ資源

分別
収集



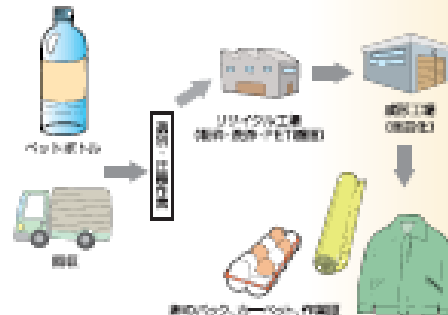
特集 愛し愛される奈良をめざして

ペットボトル



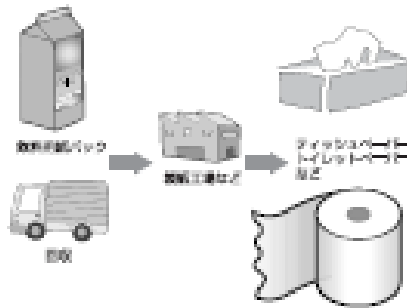
のマークの付いている、
飲料用・酒類用・しょうゆ用
PET ペットボトル

細かく砕いて粒にします（ペレットといいます）。



飲料用紙パック

飲み物が入っていた500ml以上のもの
(内筒が白いもの 牛乳・ジュース等)
パルプ工場で紙の原料になります。



18牛乳パック8枚

トイレットペーパー1個再生

その他プラスチック



のマークの付いているもの
食品や洗剤など入っている容器類

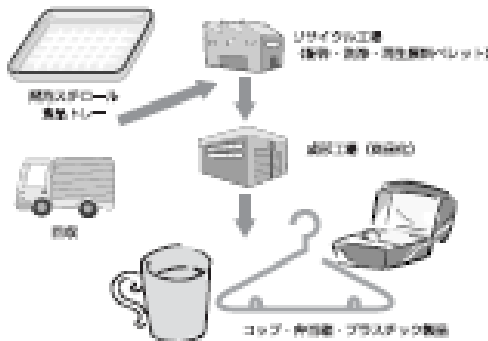
中身を使い切り、汚れを取って出してください。
付着物は残り水で洗浄し、ふき取れるものは除去して出してください。

マヨネーズ等のチューブ状の容器、シャンプー・リンス本体と詰め替え用袋、お菓子の袋と中のトレー、洗剤の入れ物と詰め替え用袋、カップ麺の容器、ラップ、卵のケース、パンの袋、スーパ-のレジ袋、液体スプーンの袋、ポケットティッシュの袋、レトルト食品の袋、飲料パックのストローの袋等



発泡スチロール 食品トレイ

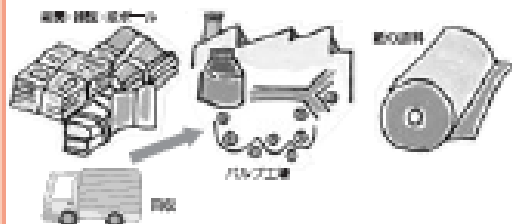
肉や魚を入れて販売している白色トレイは
リサイクルできます。
軽く叩いて粉にします(ペレットといいます)。
販売店が回収ボックスのある公共施設へ持
参してください。
色の付いているトレイは「その他プラスチ
ック」の目に出してください。



新聞・雑誌 段ボール

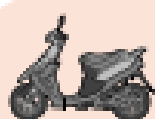
紙の原料は木の繊維
紙をリサイクルすることで、木や森を守る
大切な方法
地域での集団資源回収にご協力ください。

種類別に分けて出す→パルプ工場で紙の原料になります。



- お家150からトイレットペーパー5,000個分を再生できます。
- お家11冊リサイクルすると立木(直径14cm高さ6m)20本分の森を守ります。





市で収集していないリサイクル品 (大型ゴミに申し込めないもの)



(1) パソコン・単車 (50cc含む) …メーカーに返却



(2) 家電リサイクル品

(冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・エアコン・テレビ)



上記の品目は、①購入の時に販売店に引き取ってもらう、

②指定の場所まで持参する、

等で処理をしてください。

※くわしくは、企画総務課まで問合せください。

大型ごみ ふれあい 収集

●高齢者や障がい者のみの世帯で大型ごみを戸外へ排出できない世帯の人は、民生委員の立会いのもと家の中まで入って大型ごみの収集を行っています。

【問合せ】収集課/☎0742-71-3012



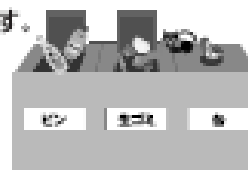
●環境清美課は「地球温暖化防止」のため環境にやさしいクリーンエネルギー自動車(エコカー)を平成15年から導入し、現在34台の天然ガス車(CNG車)を使用しています。



ごみの分別にご協力ください

●ごみ減量・リサイクルにご理解とご協力をいただき、家庭ごみは市の収集日にあわせて透明・半透明の袋で出してください。また、持ち込みする場合でも透明・半透明の袋を使用してください。ご協力をお願いします。

問合せ



●収集・ごみ置場に関する事……………収集課/☎0742-71-3012

●町内清掃・不法投棄に関する事……まち美化推進課/☎0742-71-3003

●再生資源の収集・生ゴミ処理機の助成…リサイクル推進課/☎0742-71-9900

●ゴミの持込に関する事……………環境清美工場/☎0742-71-3000

●許可業者に関する事、引越し等…………企画総務課/☎0742-71-3001



大型ごみ電話リクエスト (大型ごみの申込・変更等)

☎0742-71-9011

発行者 奈良市環境清美部企画総務課

〒631-0801

奈良市左京五丁目 2 番地

0742-71-3001

Fax 0742-71-1621